

ダイワコーポレーション社長 曾根 和光氏

小学生の時にアレルギー性鼻炎と診断されたが、社



会に出てからひどい花粉症であることを自覚。一番ひどかったのは20代後半〜30代で、ゴルフのラウンド中にくしゃみ、鼻水がひどすぎて前半を棄権したこともある。

新型コロナウイルス禍の恩恵として、花粉症の症状が緩

から必ず付けている香水だ。

朝軽く掛けたつもりが、掛け過ぎてしまった時、相手がマスクをしているので「きつい香りを感じないだろう」とほっとする。自分がマスクをすることで、嫌なにおいを嗅がずに済むのもうれしい。

話を戻すが、世界でも花粉症に苦しむ国は多い。世界で初めて花粉症を認識したイギリスの罹患率は現在20%前後。他にはアメリカ、カナダ、オーストラリア、南アフリカ

花粉症の症状軽い！

等も罹患率が高い。興味深いのは世界3

和されたことが挙げられる。常時マスクを付けることにより花粉をシャットアウトできること、症状を悪化させると言われるアルコール類の摂取量が減っていることが理由である。一昨年から今年まで、例年より格段に症状が軽い。

私の場

合、マスクの効用はもう一つある。20代の頃



大花粉症で、スギ、イネ科、ブタクサだそうである。聞いたこともないような名前かと思ったら、日本でもトップ3の花粉だ。日本でスギ花粉症の罹患率が高いトップ3は山梨(44.5%)、高知(41.2%)、埼玉と栃木(39.6%)で、低いのは北海道(2.2%)、次いで沖縄(6.0%)。ちなみに東京は13位(32.1%)だ。

毎年2〜4月は飛散量が少ない沖縄で過ごしたいと思っている。いつか実現したい。